



平成27年12月2日 編集: 区議会だより編集委員会

発行: 千代田区議会

〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1 ☎ 3264-2111 内線3315

ファクシミリ 3288-5920





メレーズ軽井沢

トップニュース

Top News

決算認定、補正予算、個人情報保護条例の一部改正等を可決!

■平成26年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について

歳入906億8,172万5,412円、歳出870億5,383万9,020円、差額36億2,788万6,392円の決算が認定されました。

■平成27年度千代田区一般会計補正予算第2号

補正前の額505億2,346万1,000円に4億2,466万3,000円の予算額が追加されました。

千代田区個人情報保護条例の一部を改正する条例

再委託先等(当該業務従事者等を含む。)又は区が契約する派遣労働者を罰則の適用対象とする規定を新たに設けたほか、 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定される「特定個人情報(個人番号をその内 容に含む個人情報〕等の取り扱いに係る関係規定を整備しました。

主な内容

●一般質問 ················ 4 ~ 5 面

●定例区議会活動報告等 ····· 6 ~10面 ▶委員会で取り扱った陳情等 … 11面

■議案の審議結果等 ………… 12面

◆区長提出議案等

· 条例 ························· 2 件

・決算、契約等 ………9件

• 報告 ··················1 件

提案された議案等

◆委員会提出議案

・附帯決議 …………………… 1 件

・ 意見書 ·················· 1 件

特別委員会設置 ················· 1 件

・意見書 ………3件



●ホームページアドレス

●メールアドレス

http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を 掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。



平成27年第4回定例区議会は、 11月18日から開会しています。

代表質問 寒

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

松本 佳子

複合災害対策について

- 間 ①複数の災害が同時あるいは連続して発生した場合の対策は②都・区から、約1カ月の間に2種類の防災資料が全世帯へ配布された。区の見解は。また、どう区別し活用すればよいのか。
- ② ①専門家の意見を踏まえ検討②都の調整不足。都の資料はあらゆる災害に対する一般的知識を掲載。区の資料は地域に密着した防災情報を掲載。

保育所代替園庭の整備について

- 間 ①保育所代替園庭として使用されている公園等について、安全面やトイレ等衛生面の改善、乳幼児用遊具の設置等、保育所からの要望への対応は②利用ニーズを踏まえた整備の方向性は。
- ② ①園児専用時間帯の設定、乳幼児 用遊具の設置、トイレ改修等、整備に 取り組む②利用頻度の高い公園等を優 先的・計画的に整備する方向で協議中。

26年度決算・財政運営について

- 問 ①予算執行にあたっての工夫は。 今後の財政運営にどう生かすのか②組 織内のチェック体制が不十分等、定期 監査における指摘事項の改善策は。
- ② ①各事業部の目標を明確にし、事業部間の連携を図り、適切に執行。基金を有効活用し、後年度負担を残さないよう運営する②失敗事例集の作成、職員全体の意識改革を行っていく。



新しい千代田

林則行

九段中等教育学校のあり方

- ①退学者数と主な理由、事後の対応は②区民枠の受験競争率低下の要因は③進学塾の説明会で学校長が講師として講演。実態把握をしているか。
- 管 ①9年間で139名。転居や留学、他学校へ進学等。適切な進路を選択できるよう指導・助言②選ばれるための魅力づくり・情報発信が必要③塾側の依頼を受け今年度は10回実施。内容は学校説明について。

麹町小学校の図書室閉鎖と今後

- ①「教育と文化のまち千代田区宣言」を踏まえた現状の認識は②保護者や児童との話し合いは③再整備時期は。
- ② ①理念に対する姿勢は変わらないが、児童への影響はある。より良好な環境整備に努める②PTAに対し説明会を複数回実施。教員等から児童へ周知3今後の児童数の変化に応じて研究。

迷惑電話対策と「風ぐるま」

- ® ①区内で発生した振り込め詐欺等の特殊詐欺・二セ電話詐欺の被害総額は②高齢者のいる世帯への対策機器整備を③風ぐるまの路線増設・変更の要望に対する必要手続き・期間は。
- 管 ①平成26年は16件、約4,440万円②都や警視庁と連携し整備③警察等との協議や法に基づく会議での合意が必要。最大6カ月程かかる。



麹町小学校図書室解体工事中(27.8.7撮影)

日本共産党区議団

木村 正明

戦争法に関する大問題

- 問 ①憲法第9条の解釈変更は立憲主義、国民主権の否定。海外での武力行使を可能とする戦争法の区長の見解は②自衛隊への子どもの情報提供中止を。
- ② ①憲法解釈等は国会で議論。区は 平和交流事業等で平和活動を推進②法 令に基づいた閲覧請求には応じる。

マイナンバー制度について

- 10個人情報の保護措置の一つに保護評価がある。区の作成した保護評価書は、特定個人情報保護委員会の承認を得る必要がある。区の対応は②再委託は指導監督責任を果たせず、業務知識を有する職員が減少するため認められない③国に制度中止の働きかけを。
- ② ①地方公共団体は承認が不要②やむを得ず認める場合は、個人情報保護の体制を十分確認し、区の許諾を条件とする③国に適宜要望等を述べていく。

住宅基本計画(素案)について

- 間 ①借上型区民住宅制度終了の方針 見直しを②開発協力金の使途を教育・ 保育のインフラ整備等にも③区営住宅 の収入基準緩和と供給数拡充。家賃助 成制度の延長と所得基準緩和。
- 管 ①支援策について検討②インフラ整備等の活用を図る③基準や供給計画の変更予定はない。助成制度は適宜見直しが必要と認識。



代表質問(要)

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小枝 すみ子

文化学習団体の育成ついて

- 問 区の育成予算や職員支援等が減少 したため、団体が減少傾向にある。区 の積極的なサポートが急がれる。
- 管 自主・自発的に提案された文化事業に対する助成制度を設け、「文化芸術の秋フェスティバル」で場を提供すると共に実行委員会では区職員も一体となり活動支援に取り組んでいる。

参画協働ガイドラインについて

- 間 ①ガイドライン作成時は、区民と 議論し参画側の視点が必要。見解は。 ②~④の計画の参画と協働の考えは② 万世橋出張所建て替え③お茶の水小学 校建て替え④旧千代田保健所移転。
- ② ①同意見。参画側との対話が重要 ②近隣地権者を含む協議会の議論を踏まえ構想案を作成③整備内容が未定、 説明会等を実施④周辺地域とまちづく り等の意見交換会で情報提供。

子どもオンブズパーソン

- 間 学校・区教委が当事者となる等学校組織で解決できないケースに対応し うる救済機関が必要。公正中立なオン ブズパーソンの設置を求める。
- 警察や児童相談所等の外部機関からなる協議会の設置等、事件予防・発見、解決に向け外部の人材を含む多角的体制を整えている。オンブズパーソンの設置は課題とし検証する。



公明党議員団

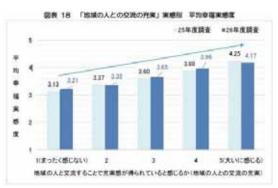
大串 ひろやす

クラウドファンディングについて

- 問 クラウドファンディングを自治体が取り組んだ場合の特徴と有効性は、 財政的な効果を始め、連帯感が生まれる、参画・協働へのきっかけとなる、 行政への依存から自立へのシフトを可能にする等が考えられる。まさにクラウドファンディングの大いなる可能性といってもよいものだ。①区長の所見は②区の事業でクラウドファンディングへ移行できるものは。
- 管 ①行政に依存することなく、区民等が主体となる取り組みの発展が期待できる。既存事業との比較等、政策的に調査研究をしていく②寄付金事業や助成事業での活用が想定できる。

幸福度調査の意義と有効性

- 問 幸福度調査の意義と有効性は、国民の幸福や真の豊かさを測る指標となること、幸福や尊厳について考える機会となること、行政としては幸福や尊厳という視点から政策立案が可能となること、また単なるニーズ調査とは異なること等が考えられる。①区は幸福度調査の意義と有効性をどう認識しているのか②千代田区版幸福度調査の実施を提案する。所見は。
- ② ①真の豊かさを指標化するものとして意義のある取り組みである②千代田区版の幸福度調査の実施は中長期的に調査研究していく。



コミュニティと幸福度(荒川区の調査より)



一般質問(要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

小林 たかや

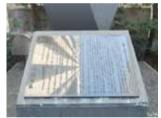
(声)

教育と文化のまち千代田区宣言

- 問 宣言の目標は基本計画におけるま ちづくり施策に、どう反映しているか。
- 管 宣言もまちづくりも次代への継承が大切。将来像を踏まえた現行施策を通して、宣言が守られるものと認識。

南海トラフ地震等の防災対策

- 問 ①備蓄食料の選定·更新基準②備蓄 機材の新商品を調べ採用基準見直しを。
- * ①選定は避難所訓練等参加者の意見を踏まえ検討。更新は消費期限の1年前②適時適切に見直す。



本庁舎に設置された宣言の碑

池田 とものり (自民)

バリアフリー化への取り組み

- 問 ①歩道の点字ブロックの整備計画 は②歩道と車道の段差解消を③バリア フリーマップの更新・見直しを。
- ② ①障害者支援団体の意見を踏まえ 調査等を行い、適切に対応②他自治体 の取り組み等を参考に検討③マップの 作成団体に更新や多言語化等を依頼中。

防災・防犯の情報配信について

- 問 ①安全・安心メールで、不審者情報配信後に追加情報の配信が必要②積極的なメール登録の周知を③デジタル掲示板設置の進捗状況と活用計画は。
- ①ほとんどが事後情報のない軽微な事案②チラシ配布や保護者の連絡網メール登録時に周知③今年度29カ所設置予定。多言語・交通機関運行情報を表示、小型スピーカー併設を予定。

米田 **かずや** (公明)

レーダーによる区道の空洞調査

- 問 地中レーダーを使用した道路の空 洞調査を早急に実施し、陥没の危険度 マップを作成しては。それを基に道路 補修の優先順位を明らかにし、速やか に危険を除去すべき。
- 管 地中の状況は、時間の経過とともに変化していくものであり、定期的にその状況を把握していくことが肝要。 年次計画を立てながら、区内全域を対象とした空洞調査に取り組んでいく。

海外交流教育派遣事業について

- 問 ウエストミンスター市との海外交 流事業について、経済的な理由で参加 申し込みを見送る生徒が出ないよう、 負担金を軽減すべきではないか。
- 答 教育事業全体の受益と負担のあり 方を勘案しながら検討していく。

大坂隆洋 (自民)

創業支援への取り組みについて

- 問 中小企業の活性化は重要。中でも 創業者支援は新たな需要や地域雇用を 創出し、まちの活性化に効果的。区の 考えと現状は①起業しやすい街にする ための区のビジョンは②行政と民間が 連携し策定した創業者に対する支援計 画が、国に認定・実施された場合、国 の補助対象となる。区の取り組みは③ 関係団体との連携は④創業者に対する 商工融資斡旋制度の利便性の向上を。
- 图 ①創業時の諸問題解決に向け、支援施設や関係団体が有機的に機能している状態②区とまちみらい千代田、関係団体が連携し計画の策定を検討中③東京商工会議所や金融機関と具体的な連携について協議中④起業資金貸し付けが急増中。状況を踏まえ補助のあり方を研究していく。

永田 壮一 (自民)

マイナンバー制度について

- 問 セキュリティ対策、制度の理解を 深めた上で区民サービス向上に役立つ 利活用の推進を求める。
- 答 説明会開催、臨時相談窓口の設置 等で対応。行政の効率化、公平・公正 な社会の実現に向け利活用を進める。

選挙権年齢引き下げについて

- 問 愛国心・公共心の徹底と教育現場 の政治的中立性、若者の投票率向上を。
- 答 教育委員会が政治的中立性に配慮 するよう指導。道徳、全教育活動を通 して愛国心・公共心を指導。



寺沢 文子

(紡民)

マイナンバー制度施行への疑問

- 10 ①情報漏えい等の危険が大。区の 見解は②代理申請に関するマニュアル を国は示したか③区の負担経費は④危 険が増す独自利用は避けるべき⑤導入 先進国は被害が深刻化、見直しの動き がある。推進は控えるべき⑥区全体調 整を図る組織体制の整備が必要。
- ①現時点では判断できない②事務 処理要領に示されている③現時点では 未確定④今後検討する⑤判断に必要な 情報を適時周知する⑥十分な情報セ キュリティを確立できる体制を整備。

安全保障関連法と区の危機管理

- ①安保法制への見解は②テロへの 対処や危機管理が必要。
- 管 ①平和国家の堅持が必要②関係機 関と緊密に連携し対処する。

一般質問 寒



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

岩佐 りょう子 (紡民)

サイン計画の進捗状況について

- 問 ①区内案内板デザイン等の統一化 を図る本計画の進捗と課題は②区の魅力を発信するシティプロモーションと の関係は③計画策定に当たり住民参加 の予定は。
- ** ①ガイドライン策定に向け検討中。景観との調和を取るため、基準が必要②サインもまちの魅力の一つ、統一化により推進されると考える③パブリックコメント等で意見聴取予定。

旅館業法の特例と空家の活用

- 間 訪日外国人の急増に伴う、ホテル 不足解消のため、個人の空き家等を活 用する民泊ビジネスで、まちの活性化 が図れるのでは。区の見解は。
- 答 民泊の必要性は認識。既存の旅館 施設の動向を踏まえ、課題を整理する。

たかざわ 秀行 (千代田)

待機児童

- 問 ①待機児童の定義は、保護者の立場に立って考えるべき②就学前人口の急増に対する予測と対応は。
- ③ ①正確な保育状況を公表し、環境 整備を推進②人□推計を見直し、幼稚 園等の需給数を再検討する。

風ぐるまの見直し

- 問 ①車いすは何台利用可能か②区民からの意見は。反映させる余地は。
- 管 ①専用スペースは1台分。2台同時利用に向け対応を検討②16名から意見があり、可能な限り改善する。



飯島 和子 (共産)

介護サービスのための調査を

- 問 高齢者の経済的・介護支援のためには、的確なニーズ把握が重要。さまざまな角度から生活実態を調査・分析することが必要と考えるが見解は。
- 効果的な施策展開のために必要。 医療・介護・健診のデータを突合し、 より詳細な分析と効果的支援に努める。

介護保険を利用しやすく

- 問 医療介護総合確保推進法により① 利用料が増額。助成が必要②施設利用 時の食費等が自己負担となった人への 恒常的助成を③還付方式の高額介護 サービス費は支払方法を改めるべき。
- ①②社会保障制度維持のため、負担増はやむを得ない。新たな助成制度の創設や恒常化は行わない③実現の可能性がある部分は他区と協議していく。

岩田 かずひと (維新ク)

九段中等教育学校の給食の運用

- 問 学校給食は食育を効率よく実現する。九段中等教育学校後期課程での実施はなく、保護者の負担軽減と栄養バランスの観点から給食の提供を望む。
- 答 学校開設時の関係者との協議結果 であり、後期課程では生徒の体格差等 が顕著となり、食の個人差が大きくな るため、各家庭での対応が相応しい。

愛護動物に対する取り組み

- 問 ①飼い主のいない猫に対する支援 拡充を②保護された猫の里親探しの意 味合いも含めた猫カフェの設置を③猫 による心理療法を行ってみては。
- ①保護した猫に対する医療費助成の拡充を検討中②施設の設置には都の登録が必要③猫の訓練と健康管理が大切であり、必要に応じて検討する。

牛尾 耕二郎 (共産)

子どもの貧困対策を問う

- 問 ①病児・病後児保育の助成額拡充 を②区独自の児童扶養手当の創設と支 給月の見直しを③就学援助支給基準の 見直しと対象者を高校生までに。
- 图 ①利用者増加に対応できる制度とするのが重要②財源確保と他手当との関係を勘案する必要がある。支給月の変更は法律改正が必要③現行基準は適正、義務教育終了後の支援は奨学金制度が適当と考える。

第3子の保育料の完全無料化を

- 問 現行基準では、第3子以降の保育料無料対象世帯は限られ、広く多子世帯が対象となるよう見直すべき。
- 国が保育料無料の対象範囲拡大を 検討中であり、この状況を踏まえなが ら、子育て世代の負担軽減に努める。

はやお恭一(千代田)

公共工事入札不調の現状と対策

- 問 本区における公共工事の入札不調 の①現状②原因とその課題③これまで の対策④今後の遂行見通しは。
- ② ①26年度14件、発生率17.7%②原 因は資材高騰と建設業界の人材不足。 再入札の減少を目指す③入札参加要件 の緩和、設計労務単価引き上げを契約 金額へ反映等④市場実勢に合わせた適 正な予定価格の積算等の対策を検討。

公共工事を進めるための方向性

- 問 オリンピック関連工事に伴う①工 事経費のピーク予測と施設整備への影 響②品質と安全確保を優先的に考慮し た施設整備計画の再検討の必要性は。
- * ①ピークは開催2年程前。同時期に重なる施設整備は十分検証②社会経済情勢に対応し5年を目途に見直す。

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案9件(条例2件、契約5件、区道廃止1件、指定管理者1件)を 審査しました。議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。



企画総務委員会

議案8件のうち、主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区個人情報保護条例の一部を改正する条例」は、個人情報の適切な取り扱いを確保するため、個人情報を取り扱う業務の再委託先等において業務に従事する者及び区が契約する派遣労働者に対し、罰則を適用できるようにすること、また、「特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆるマイナンバー法の施行に伴い、規定整備を行うものです。罰則の適用は、平成28年1月1日からです。

〈審査経過〉

質疑の中で、本区の個人情報の管理は各所管で管理しており、一括して管理しているものではないこと、今後、罰則適用に関する民間事業者への周知は、ホームページをはじめ、各所管から個別に周知徹底すること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

情報漏えいのリスクは高く、全国でマイナンバー制度は憲法違反だとして弁護士会が提訴を準備していると言われている中で、制度との整合性を図るための条例であること、また、業務の再々委託等への罰則規定を設けることでリスクを抑制する考えはわかるが、再々委託を禁止するのが個人情報保護を図るうえで大切な改善方法であることから反対する。(木村)【賛成の意見】

マイナンバー制度が個人情報のリスクを高めることは明らかである。しかし、業務の委託先、再委託先は最小限にとどめ、自治体は、保護審議会のような第三者機関でチェックする等、運用上は最善を尽くす必要があると思うため、制度については反対するが、条例には賛成する。 (小枝)

情報漏えいについては、罰則範囲を拡大し抑止力を高めたこと、目的外利用も、生命・身体の保護に及ぶ時に限られていること、現在、個人情報は分散管理ができており、情報の関連付け、類型化するようなことは無いことが確認できた。地域に出てより丁寧に説明することを求め賛成する。 (大串)

その他、「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」、「九段小学校・幼稚園改築工事請負契約について」等、九段小学校・幼稚園の改築に関する議案4件、「(仮称) 東松下町住宅新築工事請負契約の一部変更について」、「特別区道の路線の廃止について」を審査しました。

地域保健福祉委員会

議案の審査経過は以下のとおりです。

「いきいきプラザー番町の指定管理者の指定について」は、 地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、指定管理者 を指定するため議会の議決に付するものです。指定管理者候 補は、「社会福祉法人 東京栄和会」で指定期間は平成28年 4月から平成33年3月までの5年間です。

〈審査経過〉

高齢者の生活全般の相談業務を行う高齢者あんしんセンター麹町は、いきいきプラザー番町内に併設されており、同施設の指定管理者の東京栄和会が業務を行っています。また、11月開設の高齢者総合サポートセンター内での相談業務運営は、安定的かつ効果的に実施できる事業者が望まれるため、本事業のノウハウを有し、麹町地区の高齢者相談実績を有する東京栄和会を委託先の一つとして決定し、事前研修を実施しています。よって、今回の指定管理者の選定に当たっては、高齢者総合サポートセンターの相談機能の運営が軌道に乗るまでの間は、引き続き東京栄和会の管理運営が最適と判断し、非公募で指定期間を5年としたいとの説明がありました。

質疑の中で、指定にあたり、今回は非公募で選定を実施したことから、選定委員会で、主要5項目を含む15項目の評価基準を設け、選定基準点を100点満点換算で70点とし、採点結果は84点であったこと、指定管理者候補者からの新たな事業提案である「日曜日にも認知症デイサービスを稼働すること」や「一般デイサービスにおいて、経管栄養の方やインシュリン注射を受けている方等の医療重度者の受け入れを拡大すること」等に対し、法人として十分な介護体制を構築し、人材をきちんと確保・配置することや、執行機関としても積極的に支援を行うこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【替成の意見】

非公募だが、選定委員会を設け、選定基準を設定し、公募と同等の手順・手続きを踏まえた審査を実施し、新規事業の提案等、地域福祉の核となる施設の指定管理者としてふさわしいものである。今後、指定管理者制度のあり方を全庁的に再検討することを求め、賛成する。 (山田)

介護保険制度が改悪される中で、事業者もさまざまな努力や工夫をして頑張っている。継続性、安定性が求められる福祉事業に対し、指定管理者制度を利用することに問題があると指摘しつつも、今回の事業者選定については賛成する。(飯島)

定例区議会活動報告Activity Report

常任委員会



子育て文教委員会

陳情審査1件と区から8件の報告がありました。

「代替園庭の公園・児童遊園の整備の方向性について」は、 現在、園庭のない私立保育所等19園の代替園庭として指定 されている公園14カ所及び戸外活動として活用している児童 遊園3カ所についての整備の方向性をまとめたものです。平 成27年中の全体の整備計画としては、午前10時から12時ま でを園児専用の遊び場とするとともに、当該時間帯は全面禁 煙化を予定しているものです。また、子どもの利用頻度等を 踏まえ、西神田公園及び神田児童公園の乳幼児遊具の整備、 砂場等の遊び場の整備、パトロール等による安全対策を進め ていくことも年度内に予定しています。更に、今後の公園、 児童遊園の整備の方向性として、私立保育所等の園児を含め、 すべての千代田区の子どもたちにとって、安全、安心な遊び 場環境の確保はもとより、外遊び環境を充実していくために ①公園、児童遊園の既定の改修計画においても、子どもの遊 び場確保の観点から、より良い整備内容を検討していく②利 便性の向上のため、トイレや水飲み場を乳幼児にとっても利 用しやすいよう、必要に応じて整備を進めていく③園児専用 時間帯(午前10時から12時まで)以外の喫煙対策について、 引き続き所管部署と協議を進めていくこと等が明らかとなりま した。

次に、「子どもの遊び場の試行運用について」は、「千代田区子どもの遊び場に関する基本条例」に基づき、ボール遊び等が自由にできる遊び場を確保する目的で、芳林公園において11月29日までの毎週日曜日の午前10時から12時までの2時間を子どもの遊び場として試行運用するものです。質疑の中で①試行にあたっては、遊びの見守りや子どもたちの遊び相手をするプレーリーダーを配置し、その見守りの下で実施する②遊具の貸し出しを行うとともに、プレーリーダーが遊具の使い方やルール等の説明も行う③約束ごとや注意喚起の案内を掲示する④試行を通して、課題を検証したうえで、再度試行を行い、来年度からの本格実施につなげていくこと等が明らかになりました。



特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

前期委員会からの調査項目の概要、東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業等について、区から報告がありました。

国・都との連携を視野に入れながら、本区独自の推進プロジェクト事業の推進、特にイベント開催・環境整備・五輪教育について検討していくことを確認しました。

公共施設整備特別委員会

新スポーツセンターの整備に関する陳情審査1件と現スポーツセンターの現況及び高齢者施設の整備について報告がありました。陳情審査では、「子どもから高齢者まで幅広い区民が気軽に親しめ、交流を図りながら一緒に運動やスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組める施設」を新スポーツセンター整備の基本コンセプトとして進めていくことが明らかになり、継続して審査をすることとなりました。

マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会

防災を切り口としたマンション新住民とのコミュニティ形成について、区から、「避難所開設・運営訓練及び避難所運営協議会の動向」及び「出張所とマンションの関わり」等の報告がありました。その中で、町会やマンションに対する防災訓練の周知方法や出張所とコミュニティ振興担当部の役割、活動状況等を確認しました。その他、区災害対策本部と区議会支援本部との今後の連携について意見がありました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

当委員会では、今定例会前と定例会中の2回にわたり、勉強会を実施しました。2回とも地方自治関連分野の第一線で活躍されている大学教授を招き、地方主権時代における自治体議会の役割や議会と住民の関係、地方自治法の規定による議決事件等について学習しました。委員会では今後、これらの内容を参考として、調査項目について議論を深めていきます。

予算・決算特別委員会

当委員会に付託された2議案の審議経過及び結果は次のとおりです。

「平成27年度千代田区一般会計補正予算第2号」は①個人番号の通知及び個人番号カードの交付関連事務に関する経費②認定こども園整備補助に関する経費③国有地の一時借用による子どもの遊び場等の整備に関する経費④代替園庭利用の公園・児童遊園改修に関する経費⑤麹町保育園園舎整備に係わる新たな債務負担の設定をするものです。

質疑の結果、認定こども園の整備は①今回の整備は事業者からの提案によるもので、区では内容を精査し、事業者の経営状況等も含めた協議の下、適切な保育が可能と判断し、提案を受け入れたこと②認定こども園は、児童福祉施設のため、通園区域は区内全域であること③区の財政負担は国や都からの補助金等で軽減されることが明らかになりました。

また、一時利用の九段議員宿舎跡地の代替園庭では①富士 見地区の保育園児約450名の利用が見込まれること②代替園 庭利用の公園改修は、児童の利用頻度や喫煙問題が深刻なこ と等を勘案し、西神田公園と神田児童公園で実施すること等 が明らかになりました。質疑を終了し、討論を行い、採決の結果、 賛成多数により可決すべきものと決定しました。

•

「平成26年度千代田区各会計歳入歳出の決算の認定につい

て」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、 地域保健福祉、子育て文教の3つの分科会を設置し、詳細に 調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意 見発表を終え採決に入ったところ、本決算は賛成多数で認定 すべきものと決定しました。

主な質疑項目は、次のとおりです。

- ○お茶の水小学校・幼稚園施設整備
- ○御茶ノ水駅舎のバリアフリー及びユニバーサルデザイン
- ○風ぐるま
- ○情報化指針
- ○民間開放の見直し
- ○千代田エコシステム
- ○神田・秋葉原地区のまちづくり
- ○資源ゴミの持ち去り

〈討論〉

【反対の意見】

区有施設全体で、バリアフリー化やユニバーサルデザインに対し、意識的に推進する体制がないことが明らかになった。また、風ぐるまの見直しやお茶の水小学校建て替え、保養施設等の廃止について、手順・手続きに問題があることが明白であり、執行体制の不備は否めないことから平成26年度決算は認定できない。 (小林た)

反対理由の第1は、お茶の水小学校・幼稚園の建て替え問題に見られた行政の秘密主義。秘密主義は行政不信を招く。 第2は、都市再生という名目の開発事業が住民の暮らしを脅か していること。第3は、国保料の値上げ等の区民の負担増。 第4は、自衛隊の依頼により、住所、氏名等子どもの情報を 提供していること。よって決算認定に反対する。 (木村)

【賛成の意見】

保養施設の見直しについては、議会と区が同じ立場で共通 認識を持ちながら進めていくことが約束された。町会補助金 については、町会の団体としての考え方は今後も変わらず、 適正に執行していくことが確認された。また、審査の過程で の議会からの意見については今後、十分留意し、説明できな い予算執行を改めることを求め、賛成する。 (池田)

審議の中で、①オープンデータの全庁的な推進②道路の空洞化調査の実施③道路交通文化の普及啓発④区を挙げての健康づくりの推進⑤難聴者補聴器購入補助の継続等前向きな答弁があったが、お茶の水小学校に関する質疑では、執行機関との信頼関係が損なわれた。今後は、正しい報告と手順・手続きを厳守することを求め、賛成する。 (大串)

審査の過程の中で、コミュニティサイクル事業の拡充や風ぐるまの運行等利用者である区民本位の視点から課題解決に取り組み、今後の施策展開を図ることが約束された。また、国の税財政制度改革により本区の財政基盤が脅かされる懸念もある中で、今後も一層効率的かつ安定的な財政運営を行っていくことが確認でき、決算の認定に賛成する。 (内田)

全体として、健全かつ堅実な執行は評価できたが、お茶の水小学校・幼稚園施設整備調査検討に関する審査では、議会との信頼関係を揺るがしかねない進め方が明らかになり残念である。しかし、懸案事項である災害医療連携の推進による医薬品の備蓄や千代田エコシステムの推進による事業拡充への意欲があることが明らかになり、賛成する。 (岩佐)

2014年度決算は、まだまだ努力する点は多々あると思うが、 おおむね納得いくものである。ただ、今回の定例会で出た意見を 今後の糧として、精進していただくことを求め、賛成する。(岩田)

今決算は、「改定千代田区第3次基本計画」の最終年度で、施策を検証する審査である。その中で、お茶の水小学校・幼稚園整備については、一旦立ち止まり全庁的な組織体制を構築し、議会との協議のうえ可及的速やかに進めるとの対応策が示された。なお、職員定数の増員は、議会等の要望を予算編成に反映させることを区長に求め、賛成する。 (たかざわ)

平成26年度千代田区各会計歳入歳出決算額

(単位:円)

会 計	歳入	歳出	差額
一般会計	79,654,790,883	76,740,139,709	2,914,651,174
国民健康保険事業会計	5,036,645,654	4,591,383,012	445,262,642
介護保険特別会計	4,491,431,463	4,341,246,699	150,184,764
後期高齢者医療特別会計	1,498,857,412	1,381,069,600	117,787,812
合 計	90,681,725,412	87,053,839,020	3,627,886,392

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の 整備特別委員会の設置について(要旨)

お茶の水小学校・幼稚園は、早急に改築することが地域住民にとって喫緊の課題となっており、区議会も同様に位置付けています。所管委員会において、建て替えについて、その進捗状況を確認してきましたが、執行機関からは検討中であるとして、具体的な話は出てきませんでした。

こうした状況の中、今定例区議会の予算・決算特別委員会 において、移転建て替えも検討しており、移転先候補地となる土地の保有者と協議していること等が判明しました。

区民の代表である区議会と何ら協議することなく、執行機 関が独断で物事を進めていたことに対して、お茶の水小学校・ 幼稚園の整備については、一旦立ち止まり、現地建て替えを 含め議会と十分協議したうえで、可及的速やかに進めていくこ とを、本議会において附帯決議とすることにしました。また、 近隣の複数の地権者との調整や場所の問題等周辺地域の整備 も同時に行う必要があります。

これらの諸課題に対し迅速に対応していくためには、一つの 常任委員会で対応することは難しいため、特別委員会を設置 しました。

■委員会構成(12名)

委員長 桜井ただし(自民)

副委員長 たかざわ秀行(千代田)

委員 岩田かずひと(維新ク) 岩佐りょう子(紡民)

米田かずや(公明) 大坂隆洋(自民) 飯島和子(共産) 小枝すみ子(声)

嶋崎秀彦(自民)はやお恭一(千代田)林 則行(千代田)松本佳子(自民)



今定例区議会で可決した附帯決議・意見書(要旨)

議案第46号 平成26年度千代田区各会計歳入歳出決 算の認定についてに対する附帯決議

次の事項について適切に対応することを求める①お茶の水小学校・幼稚園の整備については、一旦立ち止まり、現地建て替えを含め、議会と十分協議した上で可及的速やかに進めていくこと②執行機関はこの問題に対応するために、全庁あげて取り組む体制を構築すること。

以上、決議する。

認知症への取り組みの充実強化に関する意見書

下記の事項について適切な措置を講じられるよう強く要望致します。

①認知症の方々の尊厳、意思、プライバシー等が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会の構築を目指し、認知症への理解を一層促進するとともに、認知症の予防・治療法確立、ケアやサービス等認知症に対する総合的な施策について、具体的な計画を策定することを定めた「認知症の人と家族を支えるための基本法(仮称)」を早期に制定するこ

と②認知症に見られる不安、抑うつ、妄想など心理行動症状の発症・悪化を防ぐため、訪問型の医療や看護サービス等の普及促進を、地域包括ケアシステムの中に適切に組み入れること③自治体などの取り組みについて家族介護、老老介護、独居認知症高齢者等、より配慮を要する方々へのサービスの好事例(サロン設置、買物弱者への支援等)を広く周知すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。 (提出先) 内閣総理大臣、厚生労働大臣

地方税財源の拡充に関する意見書

法人実効税率の引下げには、国の責任において確実な代替 財源を確保するなど、全ての地方自治体の歳入に影響を及ぼ さないよう万全の対応を行うとともに、地方税の根本原則を ゆがめる地方法人特別税・地方法人譲与税と法人住民税の一 部の国税化を直ちに撤廃して地方税として復元し、地方が担う 権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に 取り組むよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、 財務大臣、社会保障・税一体改革担当大臣、経済財政政策 担当大臣、地方創生担当大臣



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の3件の議案を採決するにあたり、 討論がありました。その要旨をご紹介します。

地方税財源の拡充に関する意見書 【反対の意見】

本意見書は、法人実効税率の引き下げを是とする立場に立っていることが最大の問題である。法人実効税率の引き下げに反対し、大企業を優遇する税制のゆがみを是正することが、住民福祉の増進に必要な財源の確保につながる。よって本意見書に反対する。 (木村)

【賛成の意見】

地方への税源移譲や法人住民税の一部国税化により、約30億円もの減収となることが確認された。地域がその責任と権限に応じた役割を果たすためには、地方税財源の拡充を図る必要がある。大都市特有の行政需要を抱える本区でも、財源確保は重要課題であることから、本意見書に賛成する。(内田)





本会議における討論(要旨) ※9ページからの続き

2. マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)の中止を求める意見書

【反対の意見】

本制度は、行政の効率化、国民の利便性向上、公平公正な 社会の実現に資する社会基盤である。個人情報の取り扱いに ついて国民の不安もあるが、不正利用に対する厳しい罰則や システム面での保護措置等の対策も取られており、今後の普 及・利活用が期待される。よって本意見書に反対する。(永田)

【賛成の意見】

情報漏えい等の問題があるほか、地方自治体の窓口での申請手続き全てがオンラインで可能となることはない。利便性向上が謳い文句ではあるが、実は行政機関の事務の効率化が主な目的であるマイナンバー制度は即刻やめるべきであり、多くの国民も望んでいない。よって本意見書に賛成する。(岩田)

制度導入に関する厚労省職員の贈収賄事件が発覚。多くの中小零細企業ではセキュリティ対策費が重い負担。制度や仕組みがわからない、情報漏えいに対し不安がある。所得や資産、健康状態までも国に管理されたくないという国民の声に政府は耳を傾けるべき。よって、本意見書に賛成する。 (寺沢)

3. 安全保障関連法の採択に抗議し、廃止を求めるる意見書

【反対の意見】

大量破壊兵器や国際テロ等の脅威に備え、争いを未然に防ぐ抑止力を高め、我が国と国際社会の平和と安全を守るために、安全保障関連法は必要である。国民への説明が不十分ではないかという声に対し、政府は今後も十分に説明し、理解を得ていくとしている。よって本意見書に反対する。 (山田)

【賛成の意見】

国民の6割以上が反対し、大多数が今国会で成立させるべきではないと表明している中での強行採決は、議会制民主主義の蹂躙である。また、圧倒的多数の憲法学者や学識経験者はもとより、歴代の内閣法制局長官等が「違憲」と表明した。よって本意見書に賛成する。 (岩田)



平成27年第3回定例区議会 会期日程〈会期28日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程			
9 / 24	議会運営委員会 本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会			
			議会のあり方に関する調査特別委員会			
25	議会運営委員会	13	公共施設整備特別委員会			
10 / 1	議会運営委員会		マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会			
10 / 1	本会議(代表質問・一般質問)	14	議会運営委員会			
	議会運営委員会		予算・決算特別委員会(総括)			
2	本会議(一般質問・議案の付託等)		予算・決算特別委員会(総括)			
	予算・決算特別委員会		企画総務委員会			
	企画総務委員会 地域保健福祉委員会		地域保健福祉委員会			
5			子育て文教委員会			
	子育て文教委員会	20	議会運営委員会			
6	予算・決算特別委員会		議会運営委員会			
7	予算・決算特別委員会 (分科会)	21	本会議(議案の議決等)			
8	予算・決算特別委員会(分科会)		お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会			

7月~9月の主な活動

月/日	日程	月/日	日程	
7 / 15	地域保健福祉委員会・国内行政調査 [外濠公園等]		議会運営委員会	
16	企画総務委員会	8 / 25	地域保健福祉委員会	
21	嬬恋村議会交流会(22日まで)	28	子育て文教委員会	
21	千代田区平和使節団議員派遣 [沖縄:米田かずや議員](24日まで)	20	丁月(又叙安貝云	
22	2 子育て文教委員会・国内行政調査 [旧九段中学校・区内保育施設]		議会のあり方に関する調査特別委員会	
	議会運営委員会	15	企画総務委員会	
24	企画総務委員会 子育て文教委員会		地域保健福祉委員会	
			子育て文教委員会	
8 / 5	千代田区平和使節団議員派遣 [広島:山田丈夫議員](7日まで)	17	〈平成 27 年第 3 回千代田区議会定例会告示日〉	
8	千代田区平和使節団議員派遣 [長崎:牛尾耕二郎議員](10日まで)	17	議会運営委員会	

委員会で取り扱った陳情(平成27年7月25日~平成27年11月11日)※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会 ()は参考送付	審査状況 (平成27年11月11日現在)
乳幼児人口の急増に対応した神田地区での早急な区立幼稚園の定員拡充等を求める陳情	子育て文教委員会	継続審査
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	(地域保健福祉委員会)	審査終了
新スポーツセンターを小川広場に整備することを求める陳情	公共施設整備特別委員会	継続審査
JR 御茶ノ水駅整備事業の2階店舗設置による、危険なホームの建設変更を求める陳情書	(企画総務委員会)	審査終了
JR 御茶ノ水駅整備事業の2階店舗設置による、危険なホームの建設変更を求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
JR 御茶ノ水駅整備改築時の駅ホームの安全性確保のための実証実験を求める陳情	企画総務委員会	審査終了

■区議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴は 議会活動に触れる身近な機会ですので、ぜひお越しくださ い。

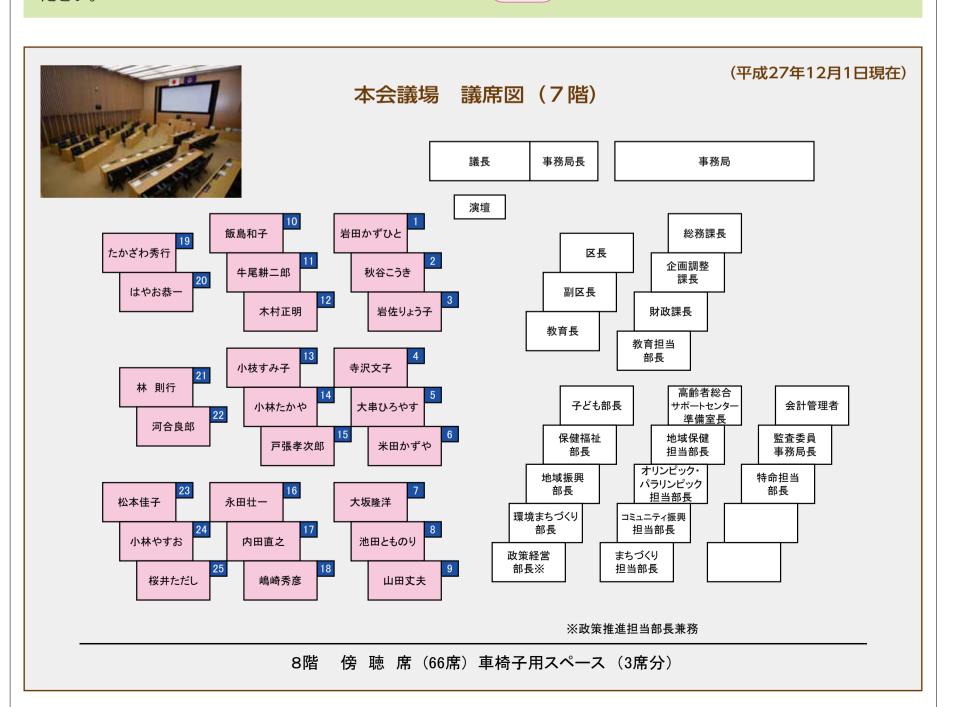
傍聴をご希望の方は、区議会ホームページ等で区議会、 委員会の日程をご確認の上、当日、庁舎8階の傍聴受付又 は委員会室においでください。氏名、住所をご記入いただ ければ、どなたでも傍聴できます。

なお、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット端末等の電子機器をお持ちの方は、必ず電源をお切りください。

〈本会議場での傍聴について〉

- ○傍聴席の入口は8階にあります。座席の数は66席です。
- ○車椅子のスペース(3席分)や音声が聞こえにくい方の ための専用受信機の用意がありますので、受付でお申し 出ください。
- ○手話通訳を希望される方は、傍聴希望日の1週間前まで にご連絡ください。

問合せ 区議会事務局 Tel5211-4297



可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対 議案の審議結果等 (平成27年第3回定例区議会) 欠…欠席/退…退席/除…除斥 9 10 11 12 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 6 8 等 名 員 岩 秋 岩 寺 米 大 池 山 飯 嶋 ゃ ざわ 出投黄反議 議 \blacksquare 串 \blacksquare 坂田 島 尾 枝 張 \blacksquare \blacksquare お 林 谷 \blacksquare 村 崎 合 本 席 決 た 隆 す 孝 秀 恭則良 ゃ か 和 耕 正 壮 直 佳 者 かや 次郎 月 み 子 ਰੋਂ 名 等 議案 子 郎 洋 ゃ 明 彦 数 成対果 数 В 千 維 維 紡 紡 公 自自 自 共共 自 自 公 自 自 自自 代代代代 声声 新 新 ク ク 民|民|明|明|民|民|民|産|産 民民民民 |田|田|田|民|民|民 議案第46号 平成26年度千代田区各会計歳入歳出決算の 25 24 24 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 0 0 可 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 認定についてに対する附帯決議 委 員 会提出議案 25 24 24 0 可 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \circ 0 \circ \bigcirc \bigcirc \bigcirc 認知症への取り組みの充実強化に関する意見書 \bigcirc 10/21 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc 0 地方税財源の拡充に関する意見書 25 24 20 4 可 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)の中止を 議 25 24 8 16 否 \bigcirc X 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc × 10/21 X X 提出議案 長 \bigcirc 安全保障関連法の採決に抗議し、廃止を求める意見書 25 24 16 否 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 は お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別 25 24 24 0 可 〇 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \circ 0 \bigcirc 0 \bigcirc 10/21 委員会の設置について 採 平成27年度千代田区一般会計補正予算第2号 25 24 21 3 可 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 10/21 決 平成26年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定につい 25 24 19 5 0 \bigcirc \bigcirc 可 0 \bigcirc 00 \bigcirc \bigcirc 10/21 X X × 千代田区個人情報保護条例の一部を改正する条例 25 24 21 3 可 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 0 000 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 加 25 24 21 可 \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \circ 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 千代田区手数料条例の一部を改正する条例 3 \bigcirc X \times \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 わ 区立九段小学校・幼稚園改築工事請負契約について 25 24 24 0 可 \bigcirc 0 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 10/21 り 長区立九段小学校・幼稚園改築電気設備工事請負契約に 25 24 24 \bigcirc 0 可 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 10/21 0 \bigcirc 提出議案ついて ま 区立九段小学校・幼稚園改築空調設備工事請負契約に 25 24 0 可 \bigcirc 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 せ 区立九段小学校・幼稚園改築給排水衛生設備工事請負 25 24 24 0 可 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \circ 0 0 \bigcirc \bigcirc O 10/21 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc (仮称)区営東松下町住宅新築工事請負契約の一部変 25 24 24 0 可 0 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10/21 更について 25 24 19 5 \bigcirc \bigcirc \circ \bigcirc 000 0 特別区道の路線の廃止について 可〇 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \times \bigcirc \bigcirc \bigcirc \circ \bigcirc 10/21 \bigcirc 0 0 00 いきいきプラザー番町の指定管理者の指定について 25 24 24 10/21 告 平成26年度千代田区財政健全化判断比率について 10/2

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名



有権者が政治家に対し寄 附を求めることは禁止さ れています。

政治家が選挙区内の人や 団体にお金や物を贈るこ とは時期や理由を問わず 法律で禁止されています。



※政治家本人が出席する場合を除く



区議会ホームページ
http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp
区議会インターネット中継ページ
http://www.kensakusystem.jp/
chiyoda-vod/index.html